

令和元年度障害者(児)実態・意向調査(案) 【施設入所している方】

対象者:18歳以上の施設入所支援利用者

カテゴリー	新規等	設問No.	調査項目	質問の意図	回答肢	備考
1 本人について		1	回答者	基本属性	1 本人 2 家族 3 施設の職員 4 その他()	
	削除	2	本人の性別		1-男性 2-女性	性別での比較分析を行わないため
	前回No3	2	本人の年齢	基本属性	年齢()歳	
	前回No5	3	年収	基本属性	1 収入はない 2 80万円未満 3 80万円以上～150万円未満 4 150万円以上～250万円未満 5 250万円以上～500万円未満 6 500万円以上～1,000万円未満 7 1,000万円以上	
	前回No6	4	収入の内訳	基本属性	1 年金(障害基礎年金など) 2 工賃(福祉的就労) 3 生活保護費 4 親族の扶養又は援助 5 その他()	複数選択可
	前回No9 選択肢修正	5	該当する疾患・障害	障害の状況把握	1 肢体不自由(上肢、下肢、体幹、脳性麻痺、移動機能障害等) 2 音声・言語・そしゃく機能障害 3 視覚障害 4 聴覚・平衡機能障害 5 内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能等) 6 知的障害 7 発達障害 8 精神障害 9 高次脳機能障害 10 難病(特定疾病) 11 その他()	複数選択可
	前回No11 選択肢修正	5-1	(問5で「7 発達障害」と回答した場合)該当する障害	障害の状況把握	1 広汎性発達障害 2 自閉症 3 注意欠陥多動性障害 4 アスペルガー症候群 5 学習障害 6 その他の発達障害 7 わからない	複数選択可
	前回No10	5-2	(問5で「10 難病」と回答した場合)疾病名	障害の状況把握	疾病名()	
	前回No4	6	手帳の種類・等級	障害の状況把握	1 身体障害者手帳(1級 2級 3級 4級 5級 6級) 2 愛の手帳(1度 2度 3度 4度) 3 精神障害者保健福祉手帳(1級 2級 3級) 4 手帳は所持していない	複数選択可
		7	家族等が障害に気づいた時期(年代)	障害に気づいた時期の把握	1 生まれたとき 2 0～5歳 3 6～17歳 4 18～29歳 5 30～39歳 6 40～49歳 7 50～59歳 8 60～64歳 9 65～69歳 10 70～74歳 11 75歳以上	
	63			1 家族 2 友人 3 学校の教職員		

		8	(7の回答を受けて)障害に気づいたときの相談相手	相談相手の把握	4 保育園・こども園・幼稚園の教職員 5 民生委員・児童委員 6 障害等の当事者会や家族の会 7 医療関係者(医師・看護師・医療相談員) 8 障害福祉課・予防対策課の窓口 9 障害福祉課・予防対策課以外の区の窓口 10 保健サービスセンター(保健師) 11 障害者基幹相談支援センター 12 子ども家庭支援センター 13 教育委員会・教育センター 14 児童相談センター(児童相談所) 15 インターネット等の情報 16 その他() 17 相談しなかった	複数選択可
	削除	12	(問9で8を選択した方へ)発達障害に基づく日常生活の問題		1 小学校入学前(0～5歳) 2 小学生のころ(6～12歳) 3 中学生のころ(13～15歳) 4 高校生のころ(16～18歳) 5 大学・専門学校等に入学した後(19歳以上) 6 就職した後 7 その他() 8 特に問題た困難はない	設問No14「現在の暮らして困っていること」とのクロス集計により、発達障害による困りごとを把握できるため
		13	(問9で8を選択した方へ)日常生活の問題の把握		1 対人関係(友人等・家族を除く) () 2 家族関係() 3 学校関係() 4 就職・仕事に関すること () 5 心身の状況に関すること () 6 その他()	
3 施設入所について	前回 No14	9	施設の所在地域	施設所在地の把握	1 文京区内 2 東京都内(文京区以外の特別区) 3 東京都内(特別区以外) 4 関東(東京都を除く) 5 中部 6 東北 7 近畿 8 四国 9 その他()	
	前回 No15 選択肢 修正	10	施設入所年数	施設入所年数の把握	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上～30年未満 7 30年以上 8 わからない	
	前回 No16 選択肢 修正	11	入所の理由	入所理由の把握	1 家族から自立するため 2 リハビリや生活面の訓練を受けるため 3 生活が保障され安心感があるため 4 家族による介助が難しくなったため 5 常時介助が必要なため 6 医療的なケアが必要なため 7 住まいに支障があったため 8 在宅福祉サービスが不十分のため 9 収入が不十分だったため 10 家族などに勧められたため 11 他施設などに勧められたため 12 その他() 13 わからない	複数選択可
4 施設での生活について					1 帰る手段がない、また移動が難しい 2 帰るときの介助者がいない 3 交通費などにお金がかかる 4 出身世帯の建物が障害に対応していない	

前回 No17	12	出身世帯に帰る(帰省)ときに困ること	移動時の課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 5 出身世帯では十分な介助が受けられない 6 帰ったときは一人でいることが多い 7 家族や親族がいない 8 緊急の場合が不安である 9 その他() 10 特になし 	複数選択可
前回 No18	13	施設生活の満足度	満足度の把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 非常に満足している 2 満足している 3 普通 4 不満である 5 非常に不満である 6 わからない 	
前回 No19	14	現在の暮らして困っていること	施設生活の課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 身の回りのことが自分では十分にできない 2 健康状態に不安がある 3 プライバシーが十分に保たれない 4 1日の生活のリズムが自由にならない 5 施設の整備に不満がある 6 仕事や訓練に不満がある 7 外出の機会が少ない 8 施設の職員の対応に不満がある 9 人間関係がうまく築けない 10 困ったときに相談する相手がいない 11 家族とあまり会えない 12 将来の生活になんとなく不安を感じる 13 その他() 14 特に困ることはない 	複数選択可
前回 No20	15	入所施設に要望すること	施設生活の課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 介護・看護の質の向上 2 健康への配慮 3 プライバシーへの配慮 4 生活内容の改善 5 施設の整備の改善 6 仕事や訓練の改善 7 外出機会の増加 8 職員の対応の改善 9 余暇活動の充実 10 相談体制の充実 11 地域生活に向けた訓練の充実 12 その他() 13 特になし 	複数選択可
新規	16	必要とする医療的ケアがあるか	医療的ケア対応状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 施設入所前から今に至るまで医療的ケアがある 2 施設に入所した当時は必要なかったが、今は必要な医療的ケアがある 3 なし 	
新規	17	(ある場合)医療的ケアの内容	医療的ケア対応状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 服薬支援 2 吸引 3 吸入・ネブライザー 4 経管栄養 5 中心静脈栄養 6 導尿 7 酸素療法 8 鼻咽頭エアウェイ 9 パルスオキシメーター 10 気管切開部の管理(ガーゼ交換等) 11 人工呼吸器の管理 12 その他() 	複数選択可
前回 No21	18	休日の過ごし方	余暇活動の把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 趣味や学習活動 2 スポーツ 3 ボランティア活動 4 友人・知人と会う 5 演劇や映画の鑑賞 6 ショッピングに行く 7 飲食店に行く 8 読書 	複数選択可

				9 旅行	
				10 自室などでくつろぐ	
				11 地域の行事に参加	
				12 近所の散歩	
				13 その他()	
				14 特に何もしない	
	前回 No22	19	外出の頻度	外出頻度の把握	
				1 ほぼ毎日	
				2 週に3～4回	
				3 週に1～2回	
				4 月に1～3回	
				5 あまり外出しない	
5 今後の暮らし方について	前回 No23	20	今後希望する生活	今後希望する生活の把握	
				1 現在の施設で生活したい	
				2 施設を退所して、家族や親族と生活したい	
				3 施設を退所して、独立して生活したい	
				4 施設を退所して、グループホーム等で生活したい	
				5 別の施設で暮らしたい	
				6 わからない	
	前回 No24	20-1	(問20で「1 現在の施設で生活したい」を選択した方へ)その理由	施設生活を希望する理由の把握	複数選択可
				1 他の入所者や職員との関係が良好なため	
				2 環境や日中活動の内容等に満足している	
				3 今の施設で技術や能力を身に付けたい	
				4 すぐに入所できるグループホームなどが無い	
				5 在宅サービスが充実していない	
				6 自宅の構造が障害に対応していない	
				7 健康面で不安がある	
				8 経済的に難しい	
				9 家族の受け入れ体制が整っていない	
				10 地域で友人関係が持てるか不安である	
				11 その他()	
				12 特に理由はない	
	前回 No25	20-2	(問20で2～4を選択した方へ)どのような暮らしをしたいか	地域生活のニーズ把握	
				1 企業などで一般就労したい	
				2 作業所などで福祉的就労をしたい	
				3 福祉的就労以外の通所施設に通いたい	
				4 就労や通所はしないで暮らしたい	
				5 わからない	
	削除	26	(問18で2～4を選択した方へ)地域移行支援・地域定着支援を利用したいか		
				1 地域移行支援を①利用したい ②利用したくない	
				2 地域定着支援を①利用したい ②利用したくない	
	前回 No27	20-3	(問20で2～4を選択した方へ)退所後に暮らしたい地域	地域移行後の生活場所の把握	
				1 文京区内	
				2 現在入所している施設の近く	
				3 その他の地域	
				4 どこでも良い	
	前回 No28	20-4	(問20で2～4を選択した方へ)退所後に暮らす地域に望むこと	地域移行後の要望の把握	複数選択可
				1 医療機関が多くある	
				2 昼間に通所する施設がある	
				3 住環境が良い	
				4 交通の便が良い	
				5 長年住み慣れた地域である	
				6 気軽に相談できる相談機関がある	
				7 現在の施設から支援が受けられる	
				8 家族などが住んでいる	
				9 在宅福祉サービスが充実している	
				10 その他()	
				11 特になし	
				1 周囲の人の障害に対する理解の促進	
				2 医療機関サービスの充実	
				2 医療やリハビリテーションの充実	
				3 幼少期・学齢期からの教育・育成の充実	
				4 雇用・就労支援体制の充実	
				4 働くための訓練・就労に向けた支援の充実	
				5 仕事を継続するための相談や支援	
				6 相談支援の充実	
				6 身近な地域で相談できる場の充実	
				7 訪問系サービス(居宅介護・重度訪問介護・同行援護等)の充実	

	前回 No29 選択肢 修正	21	地域で安心して暮らすために必要な施策	地域生活のための課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 8 日中活動系サービス(生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援等)の充実 9 短期入所(ショートステイ)の整備 10 意思疎通支援(手話通訳者・要約筆記者派遣)の充実 11 福祉機器・補装具などの充実 12 グループホームの整備 13 入所施設(障害者支援施設等)の整備 14 障害者向けの住まいの確保 15 居住支援の充実 16 建物・道路等のバリアフリー化 17 当事者同士で支援し合える仕組みづくり 18 趣味やスポーツ活動の充実 19 財産管理や見守り等の支援 20 経済的支援の充実 21 災害時支援の充実 22 地域交流の場の充実 23 福祉・医療・介護との連携の充実 24 その他() 25 特になし 	複数選択可
6 相談や福祉の情報について	前回 No30	22	困ったときの相談相手	相談相手の把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 家族や親族 2 施設の職員 3 施設の相談窓口(第三者委員会等) 4 友人・知人 5 卒業した学校の教職員 6 障害等の当事者会や家族の会 7 医療関係者(医師、看護師、医療相談員) 7 サービス等利用計画を作成した相談支援専門員 8 医療関係者(医師、看護師、医療相談員) 9 官公庁の窓口(区の障害福祉課等) 10 保健サービスセンター 11 障害者基幹相談支援センター 12 社会福祉協議会 13 インターネット等の情報 14 その他() 15 相談する相手はいない 	複数選択可
	前回 No31	23	福祉の情報の入手先	情報入手先の把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 家族や親族 2 相談支援専門員 3 知人・友人 4 官公庁の広報紙 5 官公庁のホームページ 6 官公庁の窓口(区の障害福祉課等) 7 保健サービスセンター 8 テレビ・ラジオ 9 インターネット 10 新聞・書籍 11 障害等の当事者会や家族の会 12 医療機関 13 施設の職員 14 その他() 15 特になし 	複数選択可
7 差別解消について	新規	24	障害者の差別解消をすすめていくために必要なこと	障害理解への要望把握	<ul style="list-style-type: none"> 1 障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備 2 障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信 3 障害者差別解消法に係るセミナー・研修等の開催 4 障害者差別解消法の趣旨や障害理解に関するリーフレット等の発行 5 障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催 6 地域や学校等で交流の機会を増やすこと 7 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと 8 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報 9 障害についての講演会や疑似体験会の開催 10 障害者の一般就労の促進 67 11 ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発 	複数選択可

				12 その他()	
				13 特にな	
	移設	32	合理的配慮を進めるために必要なこと	1 区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発 2 障害者差別解消法に係るセミナーの開催 3 障害当事者を講師とした区民・民間事業者向けの研修 4 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置 5 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用 6 ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発 7 特にな 8 その他()	設問No24へ統合するため
自由意見	前回 No33	25	意見・要望		